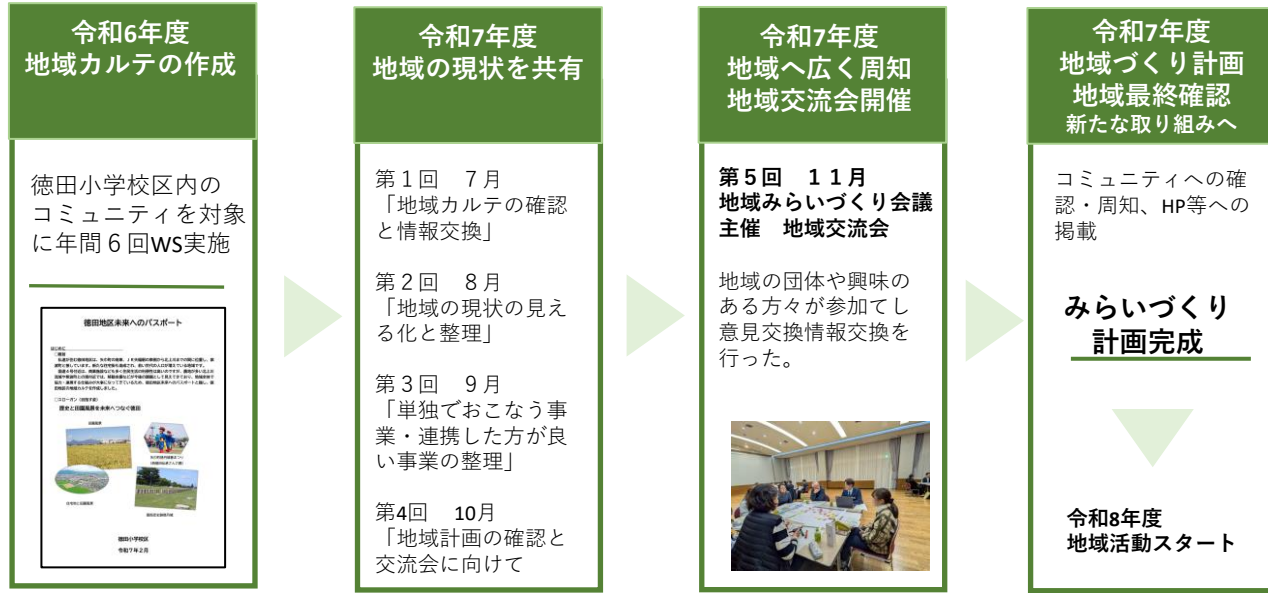




徳田地区みらいづくり会議の、これまでの取り組み



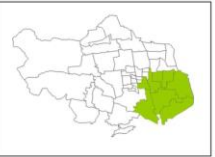
▶ 地域の素晴らしい、これまでの取り組み

- 防犯パトロールの実施
- 外国人のための翻訳支援
- 伝統さんさの復活 継承や獅子踊り参加者増
- LINEの使用など 時代に合わせた情報発信
- 地元施設と連携した避難訓練の実施

▶ 地域の素晴らしい、これからの取り組み例

- 1. 空き家に関する情報共有を行い対策を進める
- 2. 景観を維持していくため、河川等の草刈り範囲の確認を行う
- 9. 役員の負担軽減を図るため、勉強会の開催などを通して、役割の見える化、整理を行い、スムーズな役員の交代体制の実現に努める
- 12. 必要な場所に行ける移動支援の仕組みをつくるため、他地区の事業を参考にしながら検討していく
- 14. 高齢者や子どもたちが、集まれる場所をつくる

矢巾町 徳田地区地域の みらいづくり計画



徳田小学校区

スローガン (目指す姿)

歴史と田園風景を未来へつなぐ徳田



地域づくり計画とは？

徳田小学校区のみらいづくり会議では、令和6年度に地域カルテを作成し、令和7年度には6回の会議を重ね、地域コミュニティや各団体の事業のふりかえり、徳田小学校区の将来像の検討を行ってきました。そして、課題の解決と将来像の実現のために、地域の住民がみんなで取り組んで行くべき活動について話し合ってきました。その結果を取りまとめたのは「みらいづくり計画」です。

今後ますます、人口減少や高齢化は進みます。そんな未来においてもお互いに支え合い、安心して暮らせる街であるため、ここに住む私たちがホットするまち・安心できるまちに取り組んでいくためにこの計画を作りました。

できることから、取り組んでいきましょう。



徳丹城跡



徳丹獅子踊り



徳田地区地域みらいづくり会議とは？

徳田小学校区の地域コミュニティが集まり、地域の未来について情報交換や意見交換を行うことで、地域の未来をみんなで作る話し合いの場です。今後、この計画に基づいた取り組みを進めるために、さらに話し合いを重ねていきます。



徳田地区地域みらいづくり会議

徳田地区地域みらいづくり会議
問い合わせ 矢巾町 企画財政課まちづくり推進室
TEL：019-611-2729 FAX：019-697-3700
E-mail：k_community@town.yahaba.iwate.jp
徳田地区みらいづくり計画発行 令和8年3月

徳田地区の現状

人口 4,209人
(男女比 48：52)
世帯数 1,799世帯
高齢化率 31.6%
小学校/徳田小学校
高校/南昌みらい高校
(R7.12月時点)





徳田地区地域みらいづくり計画

※実施時期は、おおよその目安であり、地域の現状に合わせて随時検討見直しをおこなっていきます。

令和8年4月（計画年次 令和8年～令和13年3月）

歴史と田園風景を未来へつなぐ徳田

環境整備・防犯防災	<p>方針1. 地域の環境を整備し、暮らしやすい地域にするとともに、防災教育をみんなで行うことで、安心安全な地域をつくる。</p>
交流	<p>方針2. 多様な人が交流を行う場を作り、顔見知りを増やすことで住む人たちが豊かに暮らせる地域をつくる。</p> 
地域コミュニティ	<p>方針3. 地域の情報を広く周知するとともに、他団体との連携や、若い世代が関わりたくなる地域運営を目指すため、役割の負担を見直す。</p>
子育て・福祉	<p>方針4. どの世代もみんなが安心して暮らせる仕組みをつくり、子どもたちが仲良く過ごせる居場所をつくる。</p> 

分類	No	事業案（取り組み）	取組範囲		実施時期						
			単独	広域	R8	R9	R10	R11	R12		
環境整備	1	空き家に関する情報共有を行い対策を進める（空き家対策フローチャートの作成や所有者との連携など）	○	○	検討	→	→	→	→	→	→
	2	景観を維持していくため、河川等の草刈り範囲の確認を行う	○	○	検討	→	→	→	→	→	→
	3	美しい景観の地域をつくるため、行政と連携して環境整備に取り組む	○	○	検討	→	→	→	→	→	→
防犯・防災	4	避難経路の確認など、災害に備える取り組みを行う	○	→	点検	→	→	→	→	→	→
	5	安心・安全に暮らせるよう、顔見知りを増やし、つながりを持つことを一人ひとりが意識する（挨拶をする習慣を増やすなど）	○	○	→	→	→	→	→	→	→
交流	6	コロナ禍以降実施できなくなった、行事を見直し、開催する（地区運動会など）	○	○	検討	→	→	→	→	→	→
	7	地域住民が集まれる公民館などの、場所の整備を行い利用を促進する	○	○	→	→	→	→	→	→	→
情報	8	コミュニティ会報を定期的に発行し、地域に情報を共有する	○	○	検討	→	→	→	→	→	
役の負担の軽減	9	役員の負担軽減を図るため、勉強会の開催などを通して、役割の見える化、整理を行い、スムーズな役員の交代体制の実現に努める	○	○	→	→	→	→	→	→	→
	10	若い世代が、参加しやすいコミュニティ運営を検討する	○	○	→	→	→	→	→	→	→
	11	自治運営を円滑に行うために、他団体と連携をする	○	○	検討	→	→	→	→	→	→
福祉	12	必要な場所に行ける移動支援の仕組みをつくるため、他地区の事業を参考にしながら検討していく	○	○	話し合い	→	→	→	→	→	→
	13	歳をとっても、地域で支え合い、安心して暮らせる見守りなどの仕組みをつくる	○	○	話し合い	→	→	→	→	→	→
居場所	14	高齢者や子どもたちが、集まれる場所をつくる（場所の整備と参加したいイベント実施など）	○	○	→	→	→	→	→	→	